

高等学校 令和4年度(2学年用) 教科 福祉 科目 介護福祉基礎

教科: 福祉 科目: 介護福祉基礎 単位数: 2 単位  
 対象学年組: 第2学年 4組～ 組

使用教科書: ( 介護福祉基礎 )

教科 福祉 の目標:

【知識及び技能】福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえた合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発達に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 介護福祉基礎 の目標:

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】                                  | 【学びに向かう力、人間性等】                                      |
|---|---|---|
| 介護福祉の実践において必要な知識について体系的・系統的に理解をしているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 介護福祉に関する諸課題を発見し、援助者としての合理的かつ創造的に解決をする力を身に付けている。 | より良い介護を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 |

|             | 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容  | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|-------------|--|--|---|---|---|---|----------|
| 1<br>学<br>期 | 介護を必要とする人の理解と支援<br>介護を必要とする人の生活環境<br>【知識及び技能】<br>バリアフリー、ユニバーサル、生活歴と生活環境等についてを理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>バリアフリーやユニバーサルの視点と生活環境の整備についてを考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>生活環境を整えるためにバリアフリーやユニバーサルの視点で利用者の生活環境を考察する。 | 指導事項<br>・介護を必要とする人の生活環境<br>・介護を必要とする人の背景と生活環境<br>教材<br>・ワークシート等<br>・一人1台端末の活用 等  | 【知識・技能】<br>バリアフリー、ユニバーサル、生活歴と生活環境等について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。<br>【思考・判断・表現】<br>利用者の生活歴の課題を発見し、バリアフリーやユニバーサルの視点の生活環境について、科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>バリアフリーやユニバーサルの視点から利用者の生活環境を整えることについて主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 10       |
|             | 定期考査   |  |   | ○ | ○ |   | 1        |
|             | 介護を必要とする人の理解と支援<br>高齢者の生活と支援<br>【知識及び技能】<br>身体的特徴がある高齢者が、生きがいと社会参加等についてを理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>高齢者の身体的特徴を踏まえた社会参加が生きがいとなることを考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>高齢者の身体的特徴があっても社会参加をすることで生きがいにつながることを考察する。       | 指導事項<br>・高齢者の活動<br>・高齢者をとりまく環境の考え方<br>・高齢者の生活支援<br>教材<br>・ワークシート等<br>・一人1台端末の活用 等  | 【知識・技能】<br>高齢者の身体的特徴、生きがいと社会参加等について体系的・系統的に理解に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。<br>【思考・判断・表現】<br>高齢者の身体的特徴の課題を発見し、社会参加における生きがいについて科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>高齢者の身体的特徴を理解し、社会参加が生きがいにつながり、生活の向上となることを主体的かつ協働的に取り組もうとしている。     | ○ | ○ | ○ | 12       |
| 定期考査        |  |  | ○   | ○ |   | 1 |          |
|             | 介護を必要とする人の理解と支援<br>障害者の生活と支援<br>【知識及び技術】<br>各障害者の生活と支援等についてを理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>各障害者の特徴を理解し、生活の支援についてを考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>各障害者の特徴から生活の支援のあり方を考察する。   | 指導事項<br>・障害とは何か<br>・肢体不自由者の生活と支援<br>・内部障害者の生活と支援<br>・知的障害者の生活と支援<br>・発達障害者の生活と支援<br>・精神障害者の生活と支援<br>教材<br>・ワークシート等<br>・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技術】<br>各障害者の生活と支援等について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。<br>【思考・判断・表現】<br>各障害者の特徴から生活の課題を発見し、障害者への支援を科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>各障害者の特徴から生活の支援を検討し、生活の向上について主体的かつ協働的に取り組もうとしている。                                   | ○ | ○ | ○ | 14       |
|             | 定期考査   |  |   | ○ | ○ |   | 1        |

|             |   |  |   |   |   |    |    |
|-------------|---|--|---|---|---|----|----|
| 2<br>学<br>期 | <p>介護を必要とする人の理解と支援<br/>介護を必要とする人の生活を支える支援</p> <p>【知識及び技術】<br/>利用者の観察やコミュニケーションから、生活支援技術等についてを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>生活支援技術は、観察やコミュニケーションの重要性を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>観察やコミュニケーション技術使った生活支援技術を考察する。</p> | <p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・コミュニケーション</li> <li>・介護技術の基礎</li> <li>・居住環境の整備</li> <li>・移動の支援</li> <li>・食事の支援</li> <li>・排泄の支援</li> <li>・身じたくの支援</li> <li>・入浴の支援</li> <li>・睡眠・休養の支援</li> </ul> <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート等</li> <li>・一人1台の端末の活用 等</li> </ul> | <p>【知識・技術】<br/>利用者の観察やコミュニケーションから、生活支援技術等について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>様々な生活支援技術についての課題を発見し、観察・コミュニケーションを用いる技術について科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>観察やコミュニケーション技術を利用した生活支援技術について主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p> | ○ | ○ | ○  | 14 |
|             | 定期考査  |  |   | ○ | ○ |    | 1  |
| 3<br>学<br>期 | <p>介護を必要とする人の理解と支援<br/>介護福祉サービスの概要</p> <p>【知識及び技術】<br/>介護保険と在宅・施設・障害サービス等についてを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>介護保険を理解し、各サービス利用を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>介護保険を利用した在宅・施設・障害におけるサービスの利用方法についてを考察する。</p>             | <p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護サービスの利用方法</li> <li>・介護の場の特性（在宅・施設）</li> <li>・居宅介護・施設介護サービス</li> <li>・地域密着サービス</li> <li>・障害者支援サービスと実際</li> </ul> <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート等</li> <li>・一人1台の端末の活用 等</li> </ul>  | <p>【知識・技術】<br/>介護保険と在宅・施設・障害サービス等について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>在宅・施設・障害の生活での課題を発見し、介護保険でのサービスの利用方法を科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>介護保険から、在宅・施設・障害でのより良いサービスについて主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>                | ○ | ○ | ○  | 15 |
|             | 定期考査  |  |   | ○ | ○ |    | 1  |
|             |   |  |   |   |   |    | 合計 |
|             |   |  |   |   |   | 70 |    |